



かん きつ



柑橘生産者大会・品評会開催!!

～組合長賞に小田瑞穂さんが輝く～

2月6、7日に第3回富士伊豆農協あいら伊豆地区柑橘品評会・生産者大会が開かれました。

品評会には生産者30人から95点が出品。今回から新たにレモンを審査対象に含め、温州・甘夏・はるみ・不知火・ポンカン・その他参考品種の計7部門で審査が行われました。

最高賞の組合長賞には小田瑞穂さんのレモンが選ばれ、

その他入賞20点と品種ごと最高糖度・酸度(レモン)を選出し糖酸度賞が贈られました。

入賞者は次の皆さまです。(敬称略、カッコ内は品種と地区(糖度・酸度))



表彰状を受け取る小田さん(右)



組合長賞を受賞した小田さんのレモン



出品された甘夏の外観を採点する審査員

第3回富士伊豆農協あいら伊豆地区柑橘品評会入賞者 (令和7年2月6日) (敬称略)



左から丸山雄一郎さん、小田瑞穂さん、稲葉要一さん

組合長賞

小田 瑞穂
(レモン、伊東)

伊東市長賞

丸山 雄一郎
(はるみ、宇佐美)

熱海市長賞

鈴木 富久男
(甘夏、下多賀)

経済連東部支所長賞

稲葉 要一
(寿太郎、宇佐美)



鈴木 富久男(寿太郎、下多賀)
菊間 富佐夫(甘夏、宇佐美)
稲葉 要一(はるみ、宇佐美)
木村 征二(レモン、宇佐美)
稲葉 安雄(不知火、宇佐美)
木村 征二(ポンカン、宇佐美)
木村 征二(麗紅、宇佐美)



稲葉 安雄(寿太郎、宇佐美、12.0度)
鈴木 仁(紅甘夏、宇佐美、11.1度)
和田 実(はるみ、宇佐美、13.2度)
菊間 富佐夫(はるみ、宇佐美、13.2度)
菊間 富佐夫(レモン、宇佐美、6.50%)
椎野 厚(不知火、上多賀、13.3度)
和田 実(ポンカン、宇佐美、14.8度)



稲葉 安雄(寿太郎、宇佐美)
下田 祐一(寿太郎、吉田)
鈴木 仁(甘夏、宇佐美)
鈴木 幸雄(はるみ、宇佐美)
木村 征二(はるみ、宇佐美)
菊間 富佐夫(レモン、宇佐美)

三枝 進(レモン、伊東)
杉本 肇(不知火、宇佐美)
菊間 富佐夫(不知火、宇佐美)
和田 実(ポンカン、宇佐美)
菊間 富佐夫(黄金柑、宇佐美)



Information



JA共済連の助成金を活用し 野菜アカデミー受講者用物置を新設

あいら伊豆地区では、新規農業従事者を育成する実習をメインにした講座「野菜アカデミー」を開講しています。1月には、受講生の利便性向上を目指して、肥料や農薬、農機具などを保管する物置を4台設置。設置費用には、JA共済連静岡県本部の「地域・農業活性化助成金」を活用しました。



JA共済の
地域貢献活動シールが目印

あいら伊豆地区 夏野菜苗の販売日程のご案内

販売場所	販売期間	販売時間
営農経済センター	4月11日(金)～売り切れ次第	9:00～11:00
伊豆高原支店	4月14日(月)～4月18日(金)	9:00～11:00
宇佐美支店	4月16日(水)～4月25日(金)	9:00～11:00
下多賀支店	4月16日(水)～4月25日(金)	9:00～11:00
伊豆山地区(岸谷会館)	4月17日(木)	9:00～11:00
池地区(池学習センター裏駐車場)	4月18日(金)	9:30～11:00

※販売終了時期につきましては、天候や苗の状態により予定が前後する可能性がありますので、予めご了承ください。

いで湯っこ市場植木コーナー

植木大売り出し 開催 4/12(土)・13(日)



季節の花木も取り扱っています

自動車税(種別割)の納期限は6月2日(月)です。

自動車税(種別割)は、4月1日現在で運輸支局に登録されている自動車の所有者にかかる税金です。

JAふじ伊豆の各支店およびペイジー対応のATMで納めることができます。

また、地方税お支払いサイトを利用したクレジットカード納付やスマートフォン決済アプリでも納付できます。

静岡県熱海財務事務所 課税課自動車税担当 電話 0557-82-9061

※詳細は、5月上旬に送付される自動車税(種別割)納税通知書又は静岡県ホームページをご覧ください。

納期限までに
納めましょう。



不動産相談センター伊東店物件情報

■お問い合わせ先:

静岡県知事(7)第10427号 富士伊豆農業協同組合 不動産相談センター伊東店 ■定休日:水曜日・日曜日・祝日
〒414-0037 静岡県伊東市桜ガ丘2-2-10 TEL:0557-37-7105 ■営業時間:平日9:00～17:30/ 土曜日9:00～16:00(仲介)



下多賀	家賃 60,000円	2DK(和6・洋6・DK)	敷金1ヶ月・礼金1ヶ月	2階角部屋 陽当り良好 P1台付
熱海	家賃 65,000円	2DK(洋6・和6・DK)	敷金1ヶ月・礼金1ヶ月	3階中部屋 バス停目の前 エアコン1台付 LED照明付 P1台付
川奈	家賃 50,000円	2DK(洋5・和6・DK)	敷金1ヶ月・礼金1ヶ月	2階角部屋 リフォーム済 エアコン1台 LED照明付 短期解約違約金あり P1台付
玖須美	家賃 40,000円	2K(洋6×2・K)	敷金1ヶ月・礼金1ヶ月	1階角部屋 陽当り良好 P1台付
宇佐美	家賃 48,000円	2K(洋6・洋4.5・K)	敷金1ヶ月・礼金1ヶ月	宇佐美駅徒歩圏内 P1台付 日用品が揃う100円ショップ近く

税理士による無料税務相談

相続税など税金のことでお悩みの方、お気軽に不動産相談センターまでお問い合わせください。
※なお、税理士は常勤ではないため予約制となります。

NEWS 1

女子大学第8期生がミカンの収穫や
キウイフルーツジャム作りなどを体験

女子大学あいら伊豆キャンパス(通称ハビ・カレ)では、第8期生として11人が参加し、生涯学習や仲間づくりに取り組んでいます。
12月には伊東市宇佐美の鈴木園で温州ミカンの収穫体験を行い、同園の鈴木さんから収穫・管理方法などを学んだほか、1月には女性部富士見支部から廃油石けん作りを教わりました。2月には伊東市産のキウイフルーツ「ヘイワード」「アップルキウイ」で、ジャム作りを体験しました。
今後は野菜のプランター栽培や夏野菜の料理教室などを行います。



第8期生は11人が参加



ミカンの収穫体験で栽培方法を学ぶ



各自持ち寄った廃油を使って石けん作り



女性部から特産キウイフルーツのジャム作りを教わる

キウイフルーツジャムをヨーグルトにかけて試食

NEWS 2

剪定講習会で「カットバック処理」学ぶ
大木化したダイダイなどで作業省力化

あいら伊豆柑橘部会は1月29日、柑橘の剪定講習会を熱海市と伊東市の部会員園地で開き、34人が参加しました。温州ミカンの剪定ポイントのほか、県農林技術研究所伊豆農業研究センターが技術開発した「カットバック処理」を学びました。
同技術は大木化し高所での作業が増えた木をチェーンソーで根元から50センチ程度の高さですべて伐採。新たに発生した枝を管理しやすい高さに維持することで、収穫作業などを省力化します。処理2年後には2メートルほどに成長し収穫が可能になり、3年後には再生した部分で伐採前と同等以上の収穫量が見込まれます。



甘夏の木でカットバック処理を実演する伊豆農業研究センター職員(写真右)
温州ミカンの剪定ポイントを説明する営農課の武剛広トップ営農指導員(写真左)

NEWS 3

ブランド化目指すレモン、ごきょうカントリーで紹介

2月2日放送の静岡第一テレビ「ごきょうカントリー」で、当地区のレモンが紹介され、生産者の三枝和義さん・巧さん親子とあいら伊豆地区営農販売課の森梓営農アドバイザーが出演しました。レモン栽培の歴史や栽培方法、特長、JAの取り組みなどを紹介したほか、MCの國本良博さんと澤井志帆アナウンサーが収穫体験を行い、採れたてのレモンを味わいました。



レモンの栽培方法について話す和義さん(右から2人目)と森営農アドバイザー(中央)



自家製レモネードを紹介する巧さん(右から2人目)



化学肥料・農薬量を減らし防腐剤・ワックス不使用のこだわりレモン

NEWS 5

熱海地区農業祭開催
悪天候の中
1000人以上が来場!

あいら伊豆地区本部は2月2日、熱海地区農業祭を熱海市の長浜海浜公園で初めて開きました。

人気の地元野菜や柑橘などの即売や女性部・青壮年部の作品などの販売を実施。地元団体などと協力し、ダンスサークルや和太鼓保存会による披露のほか、熱海高校のボランティア部がさくらまんじゅうの販売実習として出店、エイサー部が演舞を披露しました。飲食ブースでは管内のキッチンカーなども並び、地域との交流を深め、農産物の魅力を広くPRしました。

ステージでは、川口カズヒロさんが作詞作曲した当JAイメージソング「ハローJAふじ伊豆」などを熱唱。じゃんけん大会やお菓子まきなどのMCも務めイベントは大盛況でした。



熱海市の齊藤栄市長(左)と勝俣孝明衆議院議員(右)が来賓として出席
開会のあいさつをする稲村康弘理事



川口カズヒロさんが「ハローJAふじ伊豆」などを熱唱



新鮮な地元農産物の即売は大人気



キレのあるダンスを見せ来場者を魅了



青壮年部が作った竹あかりの販売



女性部が作ったパッチワークなどを販売



熱海高校エイサー部の演舞



じゃんけん大会・お菓子まきは子どもに大人気

NEWS 4

熱海市・伊東市内の全小学校給食用に青島ミカンを贈呈

あいら伊豆地区本部は1月16日、熱海市と伊東市の教育委員会に両市産の「青島ミカン」を学校給食用に寄贈しました。子どもたちが給食を通して地元農産物に関心を持ち、食の大切さや食を支える農業の役割への理解を深めることを目的に平成21年から始まりました。



▲伊東市の高橋雄幸教育長に青島ミカンを手渡す稲葉地区本部長(中央)ら



熱海市の水野秀司教育長に青島ミカンを手渡す小田和秀統括営農経済センター長(左)

熱海市に120キロ、伊東市に230キロを届け1月下旬に全小学校の給食で提供されました。稲葉俊哉地区本部長は「地元の農産物をおいしく食べて、食を支える農業の役割を知ってほしい」と話しました。
熱海市の水野秀司教育長は「毎年ありがたい。子どもたちが楽しみにしている」と感謝を述べました。